

可能性を築くまち

# SHIMONOSEKI VISION

第3次下関市総合計画



# 可能性を築くまち

## Road to 2034 10年後の下関



目指すべき本市の将来像を描き、その実現に向けて今後10年間の取組をまとめた新しいビジョンを、市と作成に関わった市民が一体となって共同で策定し、「可能性を築くまち」を基本理念として定めました。

そこには、市民や下関に関わる人たちに向けて、“誰もが安心して未来を描いていける環境を整え、各々が個性を活かし、輝けるまちを、下関で暮らす市民、活動する人たちと一緒に築いていきたい”という想いをこめました。

可能性というのは、必ずしも新しいことへの挑戦を示すものではありません。

“誰もが安心して未来を描けるか”ということを基盤として考えています。

まず、誰にとっても安心して暮らせるまちであり、地域みんなで子育てをするまちであること。国籍/性別/年齢/障害の有無などに左右されることなく学ぶことができ、働くことができるまちづくりが不可欠です。

その上で、何か歩みを進めよう、挑戦をしてみようとする意識を育み、下関の価値を存分に活用した挑戦が実現できる環境を整えていきます。

下関は、多様な自然環境があり、各地で育まれた地域資源によって、幅広いライフスタイルが選択できるまちです。そして、古くから海峡のまちとして、歴史を動かそうしてきた人びとが交差してきた土地でもあります。

私たちは、そんな下関の可能性を信じています。

変化を追い風に、新しい視点を持ち、かつ俯瞰して、下関というまちを捉え直し、住みやすい、住み続けたい、下関で挑戦したいと思われるまちを目指していきます。

下関の土地自体が持つ“可能性”と、下関に暮らす/関わる人たちの“可能性”を築いていき、未来へと下関を繋いでいきましょう。

	2023年基準値	2034年目標値
下関は「住みやすいと思う」市民の割合	88%	→ <b>100%</b>
下関を「自分のまちとして愛着を感じる」市民の割合	84%	→ <b>100%</b>
下関に「住みたい/住み続けたいと思う」市民の割合	70%	→ <b>100%</b>
若者(39歳以下)の		<b>社会減 ゼロ</b>



## 市民憲章

平成19年2月13日制定

わたしたちは、美しい自然と古い歴史に恵まれたふるさと下関市を愛します。  
わたしたちは、下関市民であることに誇りと責任をもって、互いに心を寄せあい、  
新しい理想のまちづくりをめざしてこの憲章をかけます。

- わたしたちは、**し** 自然の恵みを大切にします。  
わたしたちは、**も** 燃え立つ心を大切にします。  
わたしたちは、**の** 伸びゆく力を大切にします。  
わたしたちは、**せ** 先人の訓えを大切にします。  
わたしたちは、**き** 協働の営みを大切にします。

## 安全都市宣言

わが国の経済の発展や国民生活の安定は、世界においても目覚しいものであるが、他面これに伴い産業災害、交通事故、風水害、地震、火災、学校内における児童生徒の被害、列車事故等のため、多数の人命が失われており、海外においてはテロリストや核兵器による脅威など、まことに憂慮すべきものがある。

これらの災害を防止するため、産業安全、交通安全、自然災害予防、学校安全、武力攻撃事態への対処等、各方面の安全運動がそれぞれの関係者の手によって行われているが、さらに一段と強力に推進し、憂慮すべき現状に対処することが望まれる。

そのためには直接の関係者ばかりでなく、市民、事業所、関係機関、行政が一体となった協力体制をさらに充実させ、密接な連携のもとに総合的安全の大運動を展開することが必要である。

われわれは、下関市民の安全を確保し、明るく住みよいまちづくりを目指して、ここに下関市を「安全都市」とすることを宣言する。

以上決議する。

平成17年9月26日  
下関市議会

令和7(2025)年3月  
下関市長 前田 晋太郎

## 非核平和都市宣言

戦争の惨禍を防止し、真の恒久平和を実現することは、全世界の人々共通の願いである。

しかしながら、軍備の拡張は依然として続けられ、核拡散と相まって世界平和に深刻な脅威をもたらしていることは、全世界の人々の等しく憂えるところである。

我が国は世界でただ一つの核兵器による被爆国として、また日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念からも、再びあの広島、長崎における被爆の恐ろしさ、被爆者の苦しみを絶対に繰り返させてはならない。

下関市議会は、真の恒久平和を求めるため我が国の国是たる非核三原則が世界各国の国是となることを希求するとともに、全ての核兵器保有国並びに将来核兵器を保有しようとする国に対し核兵器の廃絶を訴え、ここに下関市を「非核平和都市」と宣言する。

以上決議する。

平成17年12月21日  
下関市議会



市の花 ハマユウ

市の花木 ツツジ

市の木 クスノキ

市の花木 サクラ



市の動物 クジラ



市の鳥 ペンギン



市の虫 ホタル



市の魚 フク



市のシンボルマーク フクフクマーク

## 「可能性を築くまち」に向けて

加速する人口減少、そして生活スタイルや価値観の多様化など、本市を取り巻く社会情勢が激しく変革する中で、私は、「希望の街・下関 改革への挑戦」という一貫した基本姿勢のもと、活力あるまちであり続け、市民の皆様が夢を語り、希望を叶えることのできる「希望の街・下関」の実現を目指し走り続けてまいりました。

そのような中、令和7(2025)年度から10年間にわたる「第3次下関市総合計画」を策定いたしました。この総合計画は市政運営の基本となる計画であり、このたび新しい計画のスタートを迎え、まちづくりを進めていく新たなステージに立ったところです。

本計画の策定にあたりまして、これまでにない多くの市民の皆様、特に本市の未来を担う若者世代の参画をいただきました。そこでなされた意見やアイデアなどたくさんの市民の想いは、まちづくりを進める原動力となります。

また本計画には、まちづくりの基本理念として「可能性を築くまち」、そして市民の皆様と共有したい想いとして「誰もが安心して未来を描いていける環境を整え、各々が個性を活かし、輝けるまちを下関で暮らす市民、活動する人たちと一緒に築いていきたい」というメッセージを掲げました。

これには、市民であることに誇りを持ち、ともに手を携え、未来に向けたわたしたちのまちづくりへの決意が込められています。皆様とともに、この想いを育みながら、進めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、熱心にご審議いただいた総合計画審議会委員の皆様をはじめ、様々な機会を通して貴重なご意見、ご提言を賜りました市民の皆様に心より感謝申し上げます。



# 目 次

<b>第1部 序論</b>	1	<b>第3部 基本計画</b>	33
策定の趣旨	2	<b>第1章 産業・就業</b>	34
計画の構成	3	第1節 農林水産業の振興	35
計画期間	3	第2節 商工業の振興	44
計画策定の背景	4	第3節 地域産業を支える労働力の確保	54
1.本市を取り巻く社会的背景	4		
2.本市の主な課題	6		
3.人口動態の現状	9		
4.将来人口の推移	11		
SDGsの位置づけ	12	<b>第2章 交流・にぎわい</b>	58
市民アンケートの調査結果	13	第1節 文化・スポーツの振興	59
		第2節 観光・レクリエーションの振興	66
		第3節 みなとのにぎわいの創出	76
		第4節 連携・交流の推進	80
<b>第2部 基本構想</b>	25	<b>第3章 こども・子育て・教育</b>	86
まちづくりの基本理念	26	第1節 こども・子育て支援の充実	87
暮らしやすい、住みよいまち	28	第2節 教育の振興	92
若者でにぎわうまち	29	第3節 地域の教育力の向上	104
地域別まちづくりの方向性	30	第4節 生涯を通じた学ぶ機会の提供	108
		<b>第4章 健康・保健・福祉・医療</b>	114
		第1節 保健・医療の充実	115
		第2節 地域福祉の充実	122
		第3節 高齢者福祉の充実	124
		第4節 障害者福祉の充実	130
		第5節 低所得者福祉の充実	136
		第6節 包括的な支援体制づくり	138

<b>第5章 都市基盤・生活基盤</b>	<b>142</b>
第1節 市街地の整備	144
第2節 良好的な景観の形成	148
第3節 住環境の整備	152
第4節 公共交通の整備	156
第5節 道路の整備	160
第6節 道路・橋梁等老朽化対策の推進	164
第7節 河川・海岸環境の整備	166
第8節 公園・緑地の整備	170
第9節 上水道の整備	174
第10節 工業用水道の整備	176
第11節 下水道の整備	178
第12節 港湾の振興	180
第13節 スマートシティの推進	186
<b>第6章 環境</b>	<b>188</b>
第1節 豊かな自然や暮らしの環境の保全	189
第2節 自然と調和した脱炭素社会の構築	192
第3節 循環型社会の進展を目指した廃棄物処理の推進	196
<b>第7章 安全・安心・共生・協働</b>	<b>200</b>
第1節 生活安全の推進	201
第2節 公衆衛生の充実	208
第3節 人権意識の醸成、男女共同参画・多文化共生の推進	212
第4節 市民協働の推進	218
<b>第8章 行政経営</b>	<b>222</b>
第1節 行政機能の充実	223
第2節 持続可能な行財政基盤の構築	228
<b>参考資料</b>	<b>233</b>